

令和2年8月19日提供

問い合わせ先			
担当課	産業振興局	商工労働部	ものづくり支援課
直通	072-228-7534		
内線	3530		
FAX	072-228-8816		

株式会社三菱 UFJ 銀行、大阪府、大阪市、 公益財団法人大阪産業局との スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成に関する 連携協定を締結しました！

このたび本市を含めた、株式会社三菱 UFJ 銀行、大阪府、大阪市、公益財団法人大阪産業局の5者により、「スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成」に関して、一層の連携及び協力関係を構築するため、以下のとおり連携協定を締結しましたので、お知らせします。

本協定の締結を機に、国の「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」（注1）における「グローバル拠点都市」として、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の新しい生活様式を踏まえながら、これまでにない価値観からビジネスを発想し、いち早く社会課題を解決していくスタートアップの活動を一段と促進していきます。

（注1）国が、世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステムの拠点の形成と発展をめざし、一定の集積、潜在力を有する都市において、スタートアップ・エコシステムの形成を推進する拠点形成計画を認定し、政府、民間サポーターによる支援を実施（詳細は関連ホームページ「内閣府ホームページ」(<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/index.html>) をご参照ください。)

【協定の概要】

1 名称

スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成に関する連携協定書

2 内容

- (1) スタートアップの創出及び成長機運の醸成に関すること
- (2) スタートアップの成長支援及びイノベーションの創出に関すること
- (3) 起業家育成支援に関すること
- (4) スタートアップコミュニティ醸成に関すること
- (5) その他、スタートアップ・エコシステムの構築に関すること

3 締結日

令和2年8月19日（水曜日） ※同日より適用

スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成に関する連携協定書

大阪府（以下「甲」という。）、大阪市（以下「乙」という。）、堺市（以下「丙」という。）、公益財団法人大阪産業局（以下「丁」という。）及び株式会社三菱UFJ銀行（以下「戊」という。）とは、相互の信頼関係をもとに、オール大阪でグローバルに取組みを展開する「大阪スタートアップ・エコシステム」の構築に関して一層の連携及び協力関係を構築するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲、乙、丙、丁及び戊がパートナーとして密接な連携及び協力を図りながら、それぞれが有するスタートアップの支援機能を相互に活用し、起業家を生み育てる環境を整備するとともに、スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成を促進することをもって、2025年の日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催やその後を見据えた大阪経済の活性化を図ることを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲、乙、丙、丁及び戊は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携及び協力して取り組むものとする。

- （1） スタートアップの創出及び成長機運の醸成に関すること
- （2） スタートアップの成長支援及びイノベーションの創出に関すること
- （3） 起業家育成支援に関すること
- （4） スタートアップコミュニティ醸成に関すること
- （5） その他、スタートアップ・エコシステムの構築に関すること

2 甲、乙、丙、丁及び戊は、前項に定める事項を具体的に実施するため、必要な協議を行うものとする。なお、具体的な実施内容については、甲乙丙丁戊合意の上決定する。

（協定の見直し）

第3条 甲、乙、丙、丁及び戊のいずれかが、協定内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更を行うものとする。

（期間）

第4条 この協定の有効期間は、締結日より1年間とする。なお、期間満了の1ヶ月前までに、甲、乙、丙、丁及び戊による特段の申し出がなければ、1年間更新するものとし、その後も同様とする。

2 甲、乙、丙、丁及び戊のいずれかが、この協定の解約を申し出る場合、解約予定日の1ヶ月前までに書面によって相手方に通知することにより、この協定を解約できるものとする。

(疑義の決定)

第5条 この協定に定めのない事項又はこの協定に定める事項に関し疑義等が生じたときは、甲、乙、丙、丁及び戊は誠意をもって協議し、これを取り決めるものとする。

以上、この協定の締結を証するため、本書5通を作成し、甲、乙、丙、丁及び戊がそれぞれ記名押印の上、各自1通を保有するものとする。

令和2年8月19日

甲：大阪府

大阪府知事 **吉村 洋文**

乙：大阪市

大阪市長 **松井 一郎**

丙：堺市

堺市長 **永藤 英機**

丁：大阪府大阪市中央区本町橋2番5号

公益財団法人 大阪産業局

理事長 **立野 純三**

戊：東京都千代田区丸の内二丁目7番1号

株式会社 三菱UFJ銀行

代表取締役 **谷口 宗哉**

スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成に関する 連携協定について

大阪府、大阪市、堺市、公益財団法人大阪産業局、株式会社三菱UFJ銀行は、オール大阪で起業家を生み育てる環境を整備するとともに、スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成をめざすことを目的に以下の取組を一例として連携協定を締結します。

1. スタートアップの創出、及び成長機運の醸成

① 情報発信

- ・スタートアップ支援施策やイベント等に関する情報発信
- ・株式会社三菱UFJ銀行のネットワークを活用した大阪府外の有力なスタートアップや人材に対する大阪での事業活動を喚起する情報の発信

② セミナー、イベント等の実施

- ・各種セミナー、ワークショップ、プレゼンテーション等のイベントの開催
- ・株式会社三菱UFJ銀行のネットワークを活用した大阪府外の有力なスタートアップや人材の呼び込みに向けたイベントの開催
- ・資金調達に関する情報提供や、事業計画策定等に関するセミナー・イベントの開催

2. スタートアップの成長支援、及びイノベーションの創出

① アクセラレーションプログラムの誘致

- ・株式会社三菱UFJ銀行のネットワークを活用した外部専門機関等のアクセラレーションプログラムの誘致

② 資金調達支援

- ・株式会社三菱UFJ銀行及び関係会社等を通じた資金調達の支援

③ 大企業との協働、オープンイノベーションの機会の提供

- ・商談会や交流会・ピッチイベント等の開催を通じたビジネスマッチング機会の提供

④ サービス、製品の実証フィールドの提供

- ・実証事業支援に関する情報提供やその活用支援

⑤ 海外展開支援

- ・株式会社三菱UFJ銀行のグローバルネットワークを活用した海外進出支援

⑥ 人材支援

- ・スタートアップの人材採用を支援するリクルーティングイベント等の開催支援
- ・株式会社三菱UFJ銀行のプロフェッショナル人材を活用したスタートアップ支援

3. 起業家育成支援

① イベント、交流会等の実施

- ・ベンチャーキャピタルなどの専門機関や有識者との連携による、起業に必要な知識などが学べるセミナーの開催やメンタリングの実施

② 大学発スタートアップ支援

- ・大学との共同イベントの開催
- ・大学発の起業及びスタートアップ支援

4. スタートアップコミュニティの醸成

① 情報、経験、ネットワークの共有の場や機会の提供

- ・大阪府内外の事業会社、スタートアップ、大学、各種専門機関等のコミュニティ形成促進を目的とした場の提供と交流機会の創出

5. 株式会社三菱UFJ銀行を中心としたイノベーション創出拠点の設置

① イノベーション創出拠点が有する「Facility・Network・Community」を活用した支援

- ・コワーキングスペースや個室を含むスペースの提供
- ・スタートアップコミュニティの醸成に向けた交流機会の提供
- ・事業会社（主に在阪大企業）とスタートアップとのオープンイノベーションプログラムの提供
- ・イノベーション創出拠点を活用する事業会社（主に在阪大企業）とスタートアップの協業による実証実験の実現に向けた支援

「スタートアップ・エコシステムの構築・ 拠点都市形成に関する連携協定」への期待

2020年8月19日（水）

大阪府・大阪市・堺市・（公財）大阪産業局

スタートアップ拠点形成に向けた今後の課題

- 7月14日、大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムが、国の拠点都市「グローバル拠点都市」に選定。（全国で4箇所／京阪神のコンソーシアムの連名）
- 大阪でスタートアップのさらなる成長を促進するためには、「資金調達」「経営人材の確保」「グローバル市場への販路拡大」に向けた支援の強化が不可欠。

資金調達

一定規模（目安5億円以上）の資金を確保するための資金調達環境の充実が必要。

経営人材の確保

創業者の成長をしっかりと支えることのできる、経営面をサポートする経営人材の確保が必要。

グローバル市場への販路拡大

スタートアップが事業規模を大きく拡大するためのグローバル市場への販路拡大が必要。

現状は起業後のスタートアップが投資や人材、販路開拓を求めて東京等に流出

三菱UFJ銀行を中心とした「イノベーション創出拠点」について

- 三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）は三菱UFJ銀行を中心として、大阪に「イノベーション創出拠点」の設置を計画。金融機関が設置する拠点としては国内最大規模（グローバル拠点都市の「スタートアップ拠点形成計画」にも位置付け）。
- 大阪産業局、大阪府、大阪市及び堺市が同行と連携協定を締結し、同拠点と連携してスタートアップの成長を支援。

資金支援等

- MUFGおよび関係会社を通じた資金調達支援
- MUFGが提携するアクセラレーションプログラムとの連携
Plug & Play（世界トップレベルのアクセラレーター）との連携を検討
- コワーキングスペースやミーティングルームなどのスペース提供

人材支援等

- MUFGのプロフェッショナル人材によるメンタリング等のスタートアップ支援
- リクルーティングイベントの開催支援等、スタートアップの人材確保に向けた支援

販路開拓支援等

- スタートアップコミュニティの醸成に向けた交流機会の提供
- MUFGのグローバルネットワークを活用したスタートアップの海外進出支援
- 大企業との協働、オープンイノベーションの機会、実証事業支援の提供

※「イノベーション創出拠点」の詳細は、後日、MUFGより公表予定です。なお、上記支援内容には当該拠点の運営法人が提供する会員向けサービスの他、MUFGが当該拠点を通じて提供するものも含まれています。

世界に冠たるスタートアップ都市・大阪の実現に向けて

- 国による拠点の選定、さらには、イノベーション創出拠点設置を起爆剤として、国内外からの投資を呼び込む大きなチャンスとなる「大阪・関西万博」や「スマートシティ実現」を契機に、大阪・関西の成長をけん引するスタートアップを輩出していく。

世界に冠たるスタートアップ都市・大阪の実現 (大阪型ユニコーン創出)

